



2020年7月15日

各位

会社名 株式会社ブロンコビリー
代表者名 代表取締役社長 竹市克弘
(コード番号 3091 東証第一部・名証第一部)
問合せ先 取締役経営企画部長 古田光浩
電話番号 052-856-4129

第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2020年4月15日に公表いたしました2020年12月期第2四半期累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)の業績予想と実績に下記の通り差異が生じました。また2020年12月期第2四半期において特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定
実績(B)	7,723	△487	△449	△866	△57.46
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年12月期第2四半期)	11,145	1,168	1,202	773	51.34

(1) 差異の理由

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、外出自粛要請・緊急事態宣言により消費マインドは悪化し、極めて厳しい業績で推移しました。さらに行政機関等による要請に応じ、全店での営業時間の短縮及び4月8日から4月30日まで約6割に当たる関東・関西地区等の77店舗の休業を実施したことにより、第2四半期累計期間の業績は前年実績を大きく下回る結果となりました。

2. 特別損失の発生及びその内容

(1) 減損損失

業績不振店舗退店に伴い、賃貸借契約の解約による違約金及び店舗の固定資産に対する減損損失として3億11百万円を計上いたしました。

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別損失

新型コロナウイルス感染症に対する行政機関等による要請に応じ、店舗の休業及び営業時間の短縮を行っております。店舗の休業期間中に発生した固定費(人件費、減価償却費、賃借料等)は特別損失として2億23百万円を計上いたしました。

以上